

送りがなプリント はってん①(もとの かたちにもどす)

なまえ

小6／もとの 形に もどす(1／5)

ひづけ

形が かわった ことばを もとの かたちにもどす

文の 中の かたち

蒸した

→

もとの かたち

蒸す

もとの かたちを 声に 出して 言ってから、かん字の あとに 送りがなを 書く。

線の ことばを、もとの かたちにもどして かん字の あとに 送りがなを 書こう。

(1) この こは まだ 幼くてあるけない。

もとの かたち

幼

(2) おまつりで おみこしを 担いだ。

もとの かたち

担

(3) いのちは 尊くてたいせつだ。

もとの かたち

尊

(4) おじさんは ぎんこうに 勤めます。

もとの かたち

勤

(5) おちついて やれば けいさんを 誤らない。

もとの かたち

誤

(6) きの中の テストは とても 難しかった。

もとの かたち

難

(7) たりない ぶんは みんなで 補っていく。

もとの かたち

補

(8) あめが 激しく ふって きた。

もとの かたち

激

(9) 「おとしよりを 敬おう」と きめた。

もとの かたち

敬

(10) ころんだ とき みんなが 優しかった。

もとの かたち

優

(11) ふゆでも ひなたは 暖かく なる。

もとの かたち

暖

(12) ねぎを こまかく 刻んで いれる。

もとの かたち

刻

できたら:もとの かたちを 声に 出して、文の かたちと くらべて みよう。



送りがなプリント はってん①(ない・ます・よう)

なまえ

小6／ない・ます・よう の 形(2／5)

ひづけ

同じ ことばを ない・ます・よう の 形に する

れい 延びる(のびる)

ない

延びない

ます

延びます

よう

延びよう

かん字の あとの 送りがなは、形が かわっても 「もとの かたちの 送りがなの はじまり」から 書く。

ことばごとに、ない・ます・よう の 形に なるように かん字の あとに 送りがなを 書こう。

もとの かたち

ない

あつい から まどは しめない。

閉

閉める

ます

よる ねる まえに まどを しめます。

閉

(しめる)

よう

さむく なって きた。まどを しめよう。

閉

もとの かたち

ない

かれは ひとの ことばに したがわない。

従

従う

ます

わたしたちは きまりに したがいます。

従

(したがう)

よう

みんなで せんせいに したがおう。

従

もとの かたち

ない

この みせは ひとが おとずれない。

訪

訪れる

ます

はるは ことりが にわを おとずれます。

訪

(おとずれる)

よう

こんど はくぶつかんを おとずれよう。

訪

もとの かたち

ない

かれは まちがいを みとめない。

認

認める

ます

わたしは すなおに みとめます。

認

(みとめる)

よう

まちがえたら すなおに みとめよう。

認

できたら:3つの 形を 声に 出して、かん字の あとが どこから かわるか たしかめよう。



送りがなプリント はってん①(ただしのは どれ?)

なまえ

小6/ただし 書き方を えらぶ(3/5)

ひづけ

まちがいの 書き方は 2しゅるい

× 送りがたりない … かん字の あとの 送りがなが たりない

× 挿だ

× 送りすぎ … かん字が 読む ところまで ひらがなに してしまう

× 挿がんだ

ただし 書き方: 挿んだ

文の _____ に あう 正しい 書き方を 1つ えらんで、○を つけよう。

(1) ころんで あしが _____ あるけない。

(2) かぜで かみの けが _____。

痛たくて

痛くて

痛て

乱だれた

乱た

乱れた

(3) ゆきで みちが _____ なった。

(4) つぎの えきで でんしゃを _____。

危ぶなく

危なく

危く

降た

降りた

降おりた

(5) むかしの ちちは とても _____。

(6) さいふを なくして _____ いる。

若かかった

若った

若かった

困まって

困て

困って

(7) この せんせいは _____ だいすきだ。

(8) あの ほんが _____ たまらない。

優しくて

優くて

優さしくて

欲しくて

欲くて

欲ほしくて

(9) あした この にもつを _____。

(10) この へやは _____ ねむく なる。

届ます

届どけます

届けます

暖かくて

暖たかくて

暖くて

(11) あらったら セーターが _____。

(12) ともだちの いう ことは _____。

縮んだ

縮だ

縮ちんだ

疑がわない

疑わない

疑ない

できたら: えらんだ 書き方を 声に 出して、文に あてはめて 読んでみよう。



送りがなプリント はってん①(て・たの かたち) なまえ _____

小6／うごく ことばの て・た形(4／5)

ひづけ _____

形が かわった ことばの 送りがなの 書き方

れい おいもを むして たべる。

れい しゅくだいは もう すんだ。

蒸 して

済 んだ

考え方

れい1

れい2

① もとの かたちにもどす

むす

すむ

② もとの かたちで 送りがなが はじまる ところを 見つける

↓

蒸す

↓

済む

③ そこから あとを ぜんぶ ひらがなで 書く

↓

蒸して

↓

済んだ

線の ことばの かたちに なるように、かん字の あとに 送りがなを 書こう。

(1) なくした くつを みんなで さがしている。

(2) あさ はやく せんたくものを ほした。

探 _____

干 _____

(3) おさらを きれいに ならべていく。

(4) きょうは かさを いえに わすれた。

並 _____

忘 _____

(5) いない かみを ごみばこに すてた。

(6) しろい ぬのを あかく そめた。

捨 _____

染 _____

(7) くびに マフラーを まいて でかける。

(8) かばんを ロッカーに あずけた。

巻 _____

預 _____

(9) コップを うっかり わった。

(10) てを せっけんで あらって から たべる。

割 _____

洗 _____

(11) つかれた ので ベンチに すわった。

(12) ともだちを いえに よんで あそぶ。

座 _____

呼 _____

できたら:こたえを 声に 出して 読み、線の ことばと 同じ 読みになるか たしかめよう。



送りがなプリント はってん①(ぶんしょうの なかで)

なまえ

小6／ぶんしょうの 中で 書く(5／5)

ひづけ

ぶんしょうの 線の ことばの かたちになるように、下の 番ごうの 線に 送りがなを 書こう。

1 おてつだい

きのうは おてつだいを した。まず、おちゃわんを ① あらった。つぎに、せんたくものを ② ほして、にわを はいた。みずが つめたくて、そのときは ゆびが ③ いたかった。さいごに、なくした ぼうしを ④ さがした。

① 洗 _____ ② 干 _____ ③ 痛 _____ ④ 探 _____

2 おじいさんと でんしゃ

おじいさんと でんしゃに のった。ふたりで まどぎわの せきに ⑤ すわって いた。おじいさんは からだが ⑥ わかくて とても げんきだ。わたしは きっぷを いえに ⑦ わすれて しまった。ひるには おべんとうを ひぎに ⑧ ならべた。

⑤ 座 _____ ⑥ 若 _____ ⑦ 忘 _____ ⑧ 並 _____

3 ふゆの こうえん

ゆうがた、ともだちと こうえんへ いった。ゆうひが そらを あかく ⑨ そめて いた。いけの こおりの うえは すべって、さっきは ⑩ あぶなかった。さむくて、そのとき あたたかい ココアが ⑪ ほしかった。のみおわった かんは ごみばこに ⑫ すてて かえった。

⑨ 染 _____ ⑩ 危 _____ ⑪ 欲 _____ ⑫ 捨 _____

できたら:ぶんしょうを はじめから 声に 出して 読み、書いた 送りがなで 読みが 合うか たしかめよう。



送りがなプリント はってん①(もとの かたちにもどす)【こたえ】 なまえ _____

小6／もとの 形に もどす(1／5) ひづけ _____

形が かわった ことばを もとの かたちにもどす

文の 中の かたち 蒸した → もとの かたち 蒸す

もとの かたちを 声に 出して 言ってから、かん字の あとに 送りがなを 書く。

線の ことばを、もとの かたちにもどして かん字の あとに 送りがなを 書こう。

(1) この こは まだ 幼くてあるけない。

もとの かたち 幼 い

(2) おまつりで おみこしを 担いだ。

もとの かたち 担 ぐ

(3) いのちは 尊くてたいせつだ。

もとの かたち 尊 い

(4) おじさんは ぎんこうに 勤めます。

もとの かたち 勤 める

(5) おちついて やれば けいさんを 誤らない。

もとの かたち 誤 る

(6) きのうの テストは とても 難しかった。

もとの かたち 難 しい

(7) たりない ぶんは みんなで 補っていく。

もとの かたち 補 う

(8) あめが 激しく ふって きた。

もとの かたち 激 しい

(9) 「おとしよりを 敬おう」と きめた。

もとの かたち 敬 う

(10) ころんだ とき みんなが 優しかった。

もとの かたち 優 しい

(11) ふゆでも ひなたは 暖くなる。

もとの かたち 暖 かい

(12) ねぎを こまかく 刻んで いれる。

もとの かたち 刻 む

つまずきやすいところ

もどした あとの 送りがなは「もとの かたち」の 送りがな(幼い→い、担ぐ→ぐ)。活用形を そのまま 書かせない。
ない・ます・よう や かった・くて の 形も、もとの 形では 同じ 語になる。

採点：漢字の あとの 送りがなだけで 正(もとの 形全体の ひらがなは 書かなくて よい)。

送りがなプリント はってん①(ない・ます・よう)【こたえ】

なまえ

小6／ない・ます・よう の 形(2／5)

ひづけ

同じ ことばを ない・ます・よう の 形に する

れい 延びる(のびる)

ない

延びない

ます

延びます

よう

延びよう

かん字の あとの 送りがなは、形が かわっても「もとの かたちの 送りがなの はじまり」から 書く。

ことばごとに、ない・ます・よう の 形に なるように かん字の あとに 送りがなを 書こう。

もとの かたち

ない

あつい から まどは しめない。

閉 めない

閉める

ます

よる ねる まえに まどを しめます。

閉 めます

(しめる)

よう

さむく なって きた。まどを しめよう。

閉 めよう

もとの かたち

ない

かれは ひとの ことばに したがわない。

従 わない

従う

ます

わたしたちは きまりに したがいます。

従 います

(したがう)

よう

みんなで せんせいに したがおう。

従 おう

もとの かたち

ない

この みせは ひとが おとずれない。

訪 れない

訪れる

ます

はるは ことりが にわを おとずれます。

訪 れます

(おとずれる)

よう

こんど はくぶつかんを おとずれよう。

訪 れよう

もとの かたち

ない

かれは まちがいを みとめない。

認 めない

認める

ます

わたしは すなおに みとめます。

認 めます

(みとめる)

よう

まちがえたら すなおに みとめよう。

認 めよう

つまずきやすいところ

従わない・従います・従おう … おわりの 音は あ・い・お と かわるが、漢字は「従」のまま。

閉めない・閉めます・閉めよう … 音は かわらず、もとの 送りがなの「め」から 送る。

採点：線のはんいだけで よい(文のおわりの「。」までは 書かなくて よい)。

まちがいの 書き方は 2しゅるい

× 送りがたりない … かん字の あとの 送りがなが たりない

× 挿だ

× 送りすぎ … かん字が 読む ところまで ひらがなに してしまう

× 挿がんだ

ただし 書き方:挿んだ

文の _____ に あう ただし 書き方を 1つ えらんで、○を つけよう。

(1) ころんで あしが _____ あるけない。

痛たくて

×送りすぎ

痛くて

痛て

×送りがたりない

(2) かぜで かみの けが _____。

乱だれた

×送りすぎ

乱た

×送りがたりない

乱れた

(3) ゆきで みちが _____ なった。

危ぶなく

×送りすぎ

危なく

危く

×送りがたりない

(4) つぎの えきで でんしゃを _____。

降た

×送りがたりない

降りた

降おりた

×送りすぎ

(5) むかしの ちちは とても _____。

若かった

×送りすぎ

若った

×送りがたりない

若かつた

(6) さいふを なくして _____ いる。

困まって

×送りすぎ

困て

×送りがたりない

困って

(7) この せんせいは _____ だいすきだ。

優しくて

×送りがたりない

優くて

優さしくて

×送りすぎ

(8) あの ほんが _____ たまらない。

欲しくて

×送りがたりない

欲くて

欲ほしくて

×送りすぎ

(9) あした この にもつを _____。

届ます

×送りがたりない

届どけます

×送りすぎ

届けます

(10) この へやは _____ ねむく なる。

暖かくて

暖たかくて

×送りすぎ

暖くて

×送りがたりない

(11) あらったら セーターが _____。

縮んだ

縮だ

×送りがたりない

縮ちんだ

×送りすぎ

(12) ともだちの いう ことは _____。

疑がわない

×送りすぎ

疑わない

疑ない

×送りがたりない

つまずきやすいところ

送りがたりない=痛て・乱た(2字目から 落とす)。送りすぎ=痛たくて・乱だれた(読みの 一部まで 送る)。
書かずに 選ぶ 枚(書く 負担は 小さい。目で たしかめる 枚)。正しい 書き方 の 位置は 毎問 かわります。
採点:○が 正しい 1つについていれば 正。長い・短い だけで 決めさせない。

送りがなプリント はってん①(て・たの かたち)【こたえ】 なまえ _____

小6／うごく ことばの て・た形(4／5) ひづけ _____

形が かわった ことばの 送りがなの 書き方

れい おいもを むして たべる。

蒸 して

考え方

- ① もとの かたちにもどす
- ② もとの かたちで 送りがなが はじまる ところを 見つける
- ③ そこから あとを ぜんぶ ひらがなで 書く

れい しゅくだいは もう すんだ。

済 んだ

れい1

むす
↓
蒸す
↓
蒸して

れい2

すむ
↓
済む
↓
済んだ

線の ことばの かたちになるように、かん字の あとに 送りがなを 書こう。

(1) なくした くつを みんなで さがしている。

探 して

(もと：探す)

(2) あさ はやく せんたくものを ほした。

干 した

(もと：干す)

(3) おさらを きれいに ならべていく。

並 べて

(もと：並べる)

(4) きょうは かさを いえに わすれた。

忘 れた

(もと：忘れる)

(5) いない かみを ごみばこに すてた。

捨 てた

(もと：捨てる)

(6) しろい ぬのを あかく そめた。

染 めた

(もと：染める)

(7) くびに マフラーを まいて でかける。

巻 いて

(もと：巻く)

(8) かばんを ロッカーに あずけた。

預 けた

(もと：預ける)

(9) コップを うっかり わった。

割 った

(もと：割る)

(10) てを せっけんで あらって から たべる。

洗 って

(もと：洗う)

(11) つかれた ので ベンチに すわった。

座 った

(もと：座る)

(12) ともだちを いえに よんで あそぶ。

呼 んで

(もと：呼ぶ)

つまずきやすいところ

探て・干た のように、もとの 形で 送る 字まで 落とす まちがいが 多い。

もとの 形を 声に 出して、送りがなの はじまりを たしかめさせます。

採点：線のはんいだけで よい (あとにつづく ことばまで 書いても 送りがなが 正しければ 正)。

送りがなプリント はってん①(ぶんしょうの なかで)【こたえ】 なまえ _____

小6／ぶんしょうの 中で 書く(5／5) ひづけ _____

ぶんしょうの 線の ことばの かたちになるように、下の 番ごうの 線に 送りがなを 書こう。

1 おてつだい

きのうは おてつだいを した。まず、おちゃわんを ① あらった。つぎに、せんたくものを
② ほして、にわを はいた。みずが つめたくて、そのときは ゆびが ③ いたかった。
さいごに、なくした ぼうしを ④ さがした。

① 洗 った ② 干 して ③ 痛 かった ④ 探 した

2 おじいさんと でんしゃ

おじいさんと でんしゃに のった。ふたりで まどぎわの せきに ⑤ すわって
いた。おじいさんは からだが ⑥ わかくて とても げんきだ。わたしは きっぷを いえに
⑦ わすれて しまった。ひるには おべんとうを ひざに ⑧ ならべた。

⑤ 座 って ⑥ 若 くて ⑦ 忘 れて ⑧ 並 ベた

3 ふゆの こうえん

ゆうがた、ともだちと こうえんへ いった。ゆうひが そらを あかく ⑨ そめて いた。いけの
こおりの うえは すべって、さっきは ⑩ あぶなかった。さむくて、そのとき あたたかい
ココアが ⑪ ほしかった。のみおわった かんは ごみばこに ⑫ すてて かえった。

⑨ 染 めて ⑩ 危 なかった ⑪ 欲 しかった ⑫ 捨 てて

つまずきやすいところ

線の ことばは かなで 見える ので、もとの 形を 先に 思い うかべさせ、漢字の あとの はじまりを たしかめさせます。
答えは 文章の 下の 番ごうの 欄に 書く。となりの ひらがなの 部分は 採点に 入れない。

採点：線の はんいだけで 正（文章を 声に 出して 読み、読みが 合うか たしかめさせます）。